# とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

| | カテゴリ | SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項 | ３側面該当 | | | 期待レベル | 具体的な取組<br>（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。） | ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 環境 | 社会 | 経済 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 1 | 人権・労働 | 【差別の禁止】<br>・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している | | ○ | ○ | 基本 | ・行動規範により採用時に性別、年齢、人種、出身などによる差別なく採用し、従業員に対し差別なく教育、昇給・昇格、福利厚生を与える体制を構築し、役員が積極的に関与している。 | | | | | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | 16.1<br>16.2<br>16.7 | |
| 2 | 人権・労働 | 【ハラスメント禁止】<br>・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている | | ○ | ○ | 基本 | ・行動規範によりハラスメント防止規定を制定し、相談窓口を設け従業員に対し周知を行っている。<br>セクハラ、パワハラ、マタハラ等のハラスメント時には従業員に十分にヒアリングを行い対応を行っている。 | | | | | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.8 | | | | | | | | 16.1 | |
| 3 | 人権・労働 | 【労働時間】<br>・過度な長時間労働が行われていない | | | ○ | 基本 | ・36協定を制定し、長時間労働是正の為に労働時間を管理し、超過しそうな時は管理者への指導を実施して業務見直しの対応を行っている。 | | | | | | | | 8.5<br>8.8 | | | | | | | | | |
| 4 | 人権・労働 | 【外国人労働者】<br>・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している | | ○ | ○ | 基本 | ・技能実習生制度による技能実習生受入実績があり、特定技能外国人技術者も採用を行っており、就労ビザ取得を代行し対応を行っている。 | | | | 4.4 | | | | 8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| 5 | 人権・労働 | 【労働安全衛生】<br>・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている | | ○ | ○ | 基本 | ・安全衛生委員会を通じ従業員へ十分な指導を実施。改善活動を通じ安全な作業環境を構築している。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 6 | 人権・労働 | 【メンタルヘルス】<br>・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している | | ○ | | 基本 | ・年1回のストレスチェックやメンタルヘルスチェックを実施し、従業員へ良い環境を構築している。 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 人権・労働 | 【ダイバーシティ経営の促進】<br>・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている | | ○ | ○ | 基本 | ・行動規範及び倫理規定により多様な人材が活躍できるような環境を整備している。<br>・「くるみん認定」（厚生労働省）を取得している。 | | | | | 5.1<br>5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| 8 | 人権・労働 | 【健康経営】<br>・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる | | ○ | ○ | 応用 | ・従業員の健康維持にあたり、定期健康診断の結果健康相談を行い、従業員の体調維持を図っている。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 9 | 人権・労働 | 【人材育成】<br>・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している | | ○ | ○ | 応用 | ・教育管理規定により職務に応じた教育体系を構築し、OJTや社外研修により知識・能力の向上を図っている。 | | | | 4 | | | | 8 | 9 | | | | | | | | |
| 10 | 人権・労働 | 【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】<br>・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている | | ○ | ○ | 応用 | ・同一労働同一賃金の原則に則り、パート社員、派遣社員にも体制の整備を行っている。 | | | | | | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| 11 | 環境 | 【廃棄物】<br>・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている | ○ | | ○ | 基本 | ・廃棄物の管理は産業廃棄物管理票にて管理を適切に行っている。<br>・環境エコステージ2により、廃棄物の削減計画を策定し、実施を行っている。 | | | | | | | | | | | 11.6 | 12.3<br>12.4<br>12.5 | | 14.1 | | | |
| 12 | 環境 | 【エネルギー】<br>・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | ○ | | | 基本 | ・環境エコステージ2により、自社のエネルギー使用量を把握し、省エネ計画を策定し推進を実施している。 | | | | | | | 7.3 | | | | | | 13 | | | | |
| 13 | 環境 | 【温室効果ガス】<br>・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている | ○ | | ○ | 基本 | ・環境エコステージ2により、CO2排出量を把握し、削減計画を策定し推進を実施している。 | | | | | | | 7.2<br>7.3 | | | | | 12.4 | 13.3 | | | | |

# とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

| | カテゴリ | SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項 | ３側面該当 環境 | ３側面該当 社会 | ３側面該当 経済 | 期待レベル | 具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。） | ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 環境 | 【有害化学物質】<br>・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている | ○ | ○ | ○ | 基本 | ・グリーン調達管理運用手順により、法令で規制されている有害化学物質を把握し、禁止物質の非含有又は含有量が規制値に対し閾値以下であることを管理している。 | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | |
| 15 | 環境 | 【生物多様性】<br>・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | ○ | | | 基本 | ・環境エコステージ2により、生物多様性についても従業員へ周知し、認識を高めている。 | | | | | | 6.6 | | | | | | | | | 15 | | |
| 16 | 環境 | 【水の管理】<br>・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている | ○ | | | 応用 | ・水の使用量を月ごとに把握する事により、適切な使用量を確認し改善に努めている。 | | | | | | 6.4<br>6.6 | | | | | | | | | | | |
| 17 | 環境 | 【環境マネジメントシステム】<br>・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している | ○ | ○ | ○ | 応用 | ・環境エコステージ2取得により、環境への対応を行っている。 | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | |
| 18 | 環境 | 【環境情報開示】<br>・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している | | | ○ | 応用 | ・環境エコステージ2取得により、環境への取り組みを開示する体制を構築している。 | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | |
| 19 | 環境 | 【再生可能エネルギーの利用】<br>・再生可能エネルギーの利用を進めている | ○ | | | 応用 | ・太陽光発電装置を工場に設置し、再生可能エネルギー利用を推進している。 | | | | | | | 7.2 | | | | | | 13 | | | | |
| 20 | 環境 | 【天然資源の持続的利用】<br>・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている | ○ | | ○ | 応用 | | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | |
| 21 | 環境 | 【３Rの推進】<br>・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている | ○ | | ○ | 応用 | ・設計にて資源の有効な利用の促進に関する法律に基づく識別表示及び環境配慮設計による材料表示を行っている。社内から排出するゴミの分別、リサイクルの推進を行っている。 | | | | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12<br>12.5 | 13 | 14 | 15 | | |
| 22 | 公正な事業慣行 | 【汚職・贈収賄防止】<br>・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している | | ○ | | 基本 | ・汚職・贈収賄に対し、行動規範を制定し、懲罰委員会にて服務規程違反に対応する。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16<br>16.5 | |
| 23 | 公正な事業慣行 | 【公正な競争】<br>・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している | | ○ | | 基本 | ・不正競争行為に対し、行動規範を制定し、懲罰委員会にて服務規程違反に対応する。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 24 | 公正な事業慣行 | 【知的財産保護】<br>・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている | | | ○ | 基本 | ・行動規範により知的財産を保護するための特許、知的財産権の取得、管理を行っている。 | | | | | | | | 8.2<br>8.3 | 9 | | | | | | | | |
| 25 | 公正な事業慣行 | 【個人情報保護】<br>・個人情報を適切に管理している | | ○ | | 基本 | ・行動規範及びセキュリティ管理規定により、個人情報を適切に管理し、情報の流出が無い様に指導、教育を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 26 | 公正な事業慣行 | 【紛争鉱物】<br>・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | | ○ | | 応用 | ・自社製品の部品構成表によりサプライチェーンに対しCMRT(タンタル、錫、金、タングステン)及びEMRT(コバルト、マイカ)の調査を依頼し紛争鉱物を取り扱っていない事を確認している。※責任ある鉱物調達方針を含む管理手順については、これから構築予定。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 27 | 公正な事業慣行 | 【サプライチェーン管理】<br>・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している | ○ | ○ | ○ | 応用 | ・連携事業継続力強化により、サプライチェーンの管理を徹底し、リスク管理を行っている。 | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 28 | 製品・ | 【製品・サービスの安全性】<br>・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | | ○ | ○ | 基本 | ・ISO9001及び医療機器については、ISO13485を取得し、自社製品は、設計管理規定により各ステップでデザインレビューを行い設計検証・妥当性確認を行っている。医療機器はリスクマネジメント規定によりリスク評価を行っている。 | | | 3.9 | | | | | | | | | 12.4 | | | | | |

# とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

| | カテゴリ | SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項 | ３側面該当 | | | 期待レベル | 具体的な取組<br>（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。） | ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 環境 | 社会 | 経済 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 29 | サービス | 【品質保証】<br>・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している | | | ○ | 基本 | ・ISO9001及び医療機器についてはISO13485を取得し、品質マネジメントシステムを構築し顧客要求事項の確保と継続的改善を行っている。 | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | |
| 30 | 製品・サービス | 【環境配慮製品】<br>・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている | ○ | | ○ | 応用 | ・環境配慮製品（リチウムイオン電池検査装置などの配慮製品）の開発、設計、生産を行い拡大を目指している。 | | | | | | 6 | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| 31 | | 【社会課題解決製品・サービス】<br>・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている | ○ | ○ | ○ | 応用 | ・環境配慮製品（リチウムイオン電池検査装置などの配慮製品）の開発、設計、生産を行い拡大を目指している。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 32 | 社会貢献・地域貢献 | 【地域への影響への配慮】<br>・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる | ○ | ○ | ○ | 基本 | ・連携事業強化計画にて、自社事業が地域に及ぼす影響を考慮し、適切に取り組みを実施している。 | | | | 4 | | | | | 9 | | 11 | 12 | | 14 | 15 | | 17 |
| 33 | | 【社会貢献活動】<br>・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | ○ | ○ | ○ | 応用 | ・地域の産業文化祭や商工会などに参加する事により、地域への貢献を行っている。 | | | | 4 | | | | | | | 11 | | | 14 | 15 | | 17 |
| 34 | | 【地域資源の積極的利用】<br>・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている | ○ | | ○ | 応用 | | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | 13 | | | | |
| 35 | 組織体制 | 【法令遵守】<br>・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している | | ○ | | 基本 | ・倫理規程を制定し法令遵守の重要性を社員へ周知し、研修を実施している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 36 | | 【内部管理体制】<br>・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている | | | ○ | 基本 | ・経営理念を明文化し、社内に掲示し社員への通達を行っている。ホームページに掲載予定。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| 37 | | 【法令遵守】<br>・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている | | ○ | | 応用 | ・倫理規定及び就業規則に内部通報制度を整備し、コンプライアンスに違反したものを通報する体制を構築し法令遵守を実施している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 38 | | 【組織体制】<br>・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている | | ○ | | 応用 | ・管理部での責任者がそのまま社会活動や環境活動への実施を遂行する事を確認できる体制を構築している。地球温暖化防止等を含む化学物質管理については、グリーン調達組織図にて各部門の役割を規程。その他、環境についてはエコステージのシステムを構築し対応している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 39 | | 【リスクマネジメント】<br>・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている | | ○ | | 応用 | ・医療機器の受託組立品については、リスクマネジメント規定を制定し、運用を行いマネジメントするプロセスを構築している。安全衛生委員会を設置し「安全衛生パトロール」「交通安全パトロール」「危険有害要因の洗い出し(リスクアセスメント)集計表」活用。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 40 | | 【企業の社会的責任】<br>・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている | | ○ | | 応用 | ・経営方針を定め、倫理規程を制定しCSRに対する方針を明確にし、取組を推進している。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 41 | | 【ステークホルダーとの対話】<br>・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している | | ○ | ○ | 応用 | ・顧客及びお取引先様とのコミュニケーションや地域活動への参加及びホームページのお問い合わせなどにより対話し自社活動のステークホルダーへの影響を把握し当社の行動規範及び倫理規定、マネジメントシステムにより対応。又は見直しを行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 |
| 42 | | 【事業継続】<br>・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している | ○ | ○ | ○ | 応用 | ・連携事業継続力強化により、事故や災害などの発生時に速やかに事業復帰や他への移行などの戦略を立案している。 | | | | | | | | | 9 | | 11 | | 13<br>13.1 | | | 16 | |

# とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

| | カテゴリ | SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項 | ３側面該当 環境 | 社会 | 経済 | 期待レベル | 具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。） | ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 43 | | 【事業承継】<br>・事業承継に関する検討・対策を行っている | | | ○ | 応用 | ・後継者育成に対し、計画を行い検討を進めている。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |

上記以外で設定した取組項目

| | 独自に設定したSDGsに資する取組 | | | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
　（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
　なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）